

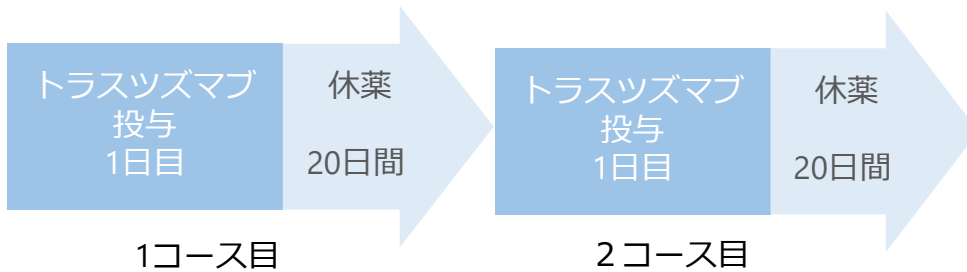
# トラスツズマブ療法を受けられる患者様へ

## トラスツズマブ療法について

トラスツズマブ（商品名;ハーセプチン）とは、がん細胞の表面にあるたんぱく質に結合して、がん細胞の増殖を抑える薬です。分子標的薬と呼ばれる薬の一つです。他の点滴治療と組み合わせて行うことがあります。

## 投与スケジュール 今日（ / ）は サイクル 日目

1日目にトラスツズマブを投与します。  
後の20日間を休みとし、21日間を一区切り(1コース)とします。



ここに示したスケジュールは参考であり、患者さんの状態や副作用によって変更することがあります。

## 点滴で投与する薬について

トラスツズマブ  
(      mg)

初回は90分、2回目以降は30分かけて投与します。

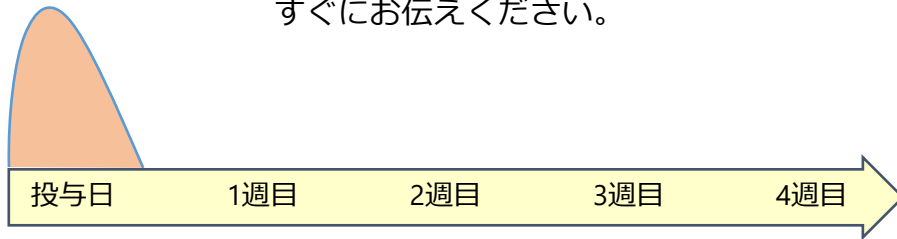
生理食塩液

お薬を洗い流します。  
5分かけて投与します。

## 副作用について

### 点滴による反応

点滴中や投与後24時間以内に、発熱や寒気などが現れる場合があります。初回に現れることが多いです。熱感・かゆみ・動悸などの症状が現れたら、すぐにお伝えください。




### 心機能障害

心臓に負担をかける作用があります。発現時期は定まっていません。必要に応じて心臓の検査をしますので、点滴中に限らず、いつもと違うことや気になることがあった場合は、遠慮なく申し出てください。

その他にも気になる症状がありましたら、お気軽に医療スタッフまでご相談ください。



 日本医科大学武蔵小杉病院薬剤部  
川崎市中原区小杉町1-396 ☎(044)733-5181